

ノーリフティング

宣言！！

当地域では高齢化率がどんどん高くなり若者の減少が顕著です。

全国的にも介護職員の腰痛などが職業病として当たり前になっている中で、1年でも長く職場で働くためには、腰痛はもとより自分の身体を自分で守る努力と工夫が必要となります。

身体の負担を少なくしていくためには根拠をもって取り組んでいくための「ノーリフティング」の取り組みが必要になります。

ノーリフティングとは、人の手で利用者様の体を持ち上げたり、抱き上げたり、ベッドの上で引きずって移乗しないことや、リフトなどの福祉機器や福祉用具を活用して職員の身体的負担の軽減のための方法です。拘縮や褥瘡の悪化など利用者様の二次障害を防止するためにもなります。リフトやスライディングボードを使うことで利用者様とのコミュニケーションの時間が増えたり、その日の状態を観察できるようになったり施設全体のケアの質が向上します。


はまなす荘では、職員の質の向上が利用者様の生活の質の向上につながるものとし、令和4年5月よりノーリフティングに取り組んでいくことを宣言します。

取り組みをすることで職員全員が安全に働ける職場づくりの実現と、利用者様・ご家族様への安心・安全を提供するものです。サービスを提供する側と受ける側の双方が日常生活を健康に過ごしていただくための取り組みですので、職員一丸となりノーリフティングケアの実践に取り組んでいくことをここに宣言します。みんなで協力しながら実践していきましょう。

ノーリフティング宣言！！

持ち上げない！抱き上げない！引きずらない！

理事長 平沢 一臣

 社会福祉法人 西寿会
特別養護老人ホーム はまなす荘